

火 災 損 害 申 告 書

年 月 日

鳥取県東部広域行政管理組合

消防署長 様

住所

申告者 職業 電話 ()

氏名

火災発生年月日	年 月 日 時 分ごろ
---------	-------------

り災場所	
------	--

り災物件と申告者との関係	所有者 ・ 管理者 ・ 占有者 ・ その他 ()
--------------	---------------------------

り災世帯者名	氏名	続柄	年齢	性別	職業	氏名	続柄	年齢	性別	職業	

火災損害の内訳は、次のとおりです。

不 動 産

建物物件	用途	構造	階数	建築面積	
	延べ面積		建築又は購入時価格		建築又は購入年月

火災保険加入状況	被保険物件	契約会社名	契約金額
	建物		
	家財		
	その他		

動 産

車両・構造物及び器具備品・機械装置の主要なもの	品名	損害区分	数量	単価(円)	価格(円)	購入年月	備考	
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						

商品・衣類・寝具・身廻品・書画・骨とう等	品名	損害区分	数量	時価・単価(円)	価格(円)	購入年月	備考	
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						
		焼・消・爆						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A3とすること。
 2 損害区分の欄は、該当するものを○で囲んでください。
 (焼-焼き損害、消-消火損害、爆-爆発損害)
 3 商品は、卸売業は卸売価格、小売業は小売価格、製品、半製品は工賃を加えた原価、その他は、り災した物と同程度の古物の時価による。
 4 立木等は、商品類欄に記入してください。なお、動産損害品名等を記入する用紙が不足した場合は、別紙に記入してください。

① 申告日
申告する日にちを記入します。

② あて先
り災場所を管轄する消防署長あて（鳥取、湖山、岩美、八頭、気高のいずれか）とします。

③ 申告者
申告する方の住所、職業、電話番号、氏名を記入します。

④ 火災発生日
申告したときに消防職員の説明により記入してください。

⑤ り災場所
申告したときに消防職員の説明により記入してください。

⑥ り災物件と申告者との関係
該当するものを○で囲みます。「その他」とのときは、（ ）内に詳細を記入します。

⑦ り災世帯者名
り災した世帯を構成する人員（同居人含む）について、氏名、続柄、年齢、性別、職業を記入します。

⑧ 不動産
【建物物件欄】
建物の用途、構造、階数、建築面積、延べ面積、建築又は購入時価格、建築又は購入年月を記入します。
【火災保険加入状況】
被保険物件（建物、家財、その他）に対して、契約している保険会社名とその契約金額を記入します。

様式第9号

火 災 損 害 申 告 書										
① 令和〇〇年〇〇月〇〇日										
② 鳥取県東部広域行政管理組合										
〇〇消防署長 様										
住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地										
③ 申告者 職業 〇〇〇 電話 (〇〇〇) 〇〇〇〇-〇〇〇〇										
氏名 消防 太郎										
④ 火災発生日		年 月 日 時 分 ころ								
⑤ り災場所										
⑥ り災物件と申告者との関係		所有者・管理者・占有者・その他（ ）								
⑦ り災世帯者名	氏 名	続柄	年齢	性別	職業	氏 名	続柄	年齢	性別	職業
	消防 太郎	本人	40	男	〇〇〇					
	消防 花子	妻	35	女	〇〇〇					
火災損害の内訳は、次のとおりです。										
⑧ 不 動 産										
建物物件	用 途	構 造			階 数		建築面積			
	専用住宅、店舗 など	木造、S造 など			地上〇階建て		〇〇〇 m ²			
	延べ面積		建築又は購入時価格				建築又は購入年月			
	〇〇〇 m ²		〇〇〇〇 円				〇〇年〇〇月			
火災保険加入状況	被保険物件	契約会社名				契約金額				
	建 物	〇〇〇〇保険会社				〇〇〇〇 円				
	家 財	〇〇〇〇保険会社				〇〇〇〇 円				
	その他	〇〇〇〇保険会社				〇〇〇〇 円				

⑨ 動 産							
車両・構造物及び器具備品・機械装置の主要なもの	品 名	損害区分	数 量	単価(円)	価格(円)	購入年月	備 考
	〇〇〇〇	焼・消・爆	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年〇月	
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
商品・衣類・寝具・身廻品・書画・骨とう等	品 名	損害区分	数 量	時価・単価(円)	価格(円)	購入年月	備 考
	〇〇〇〇	焼・消・爆	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年〇月	
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A3とすること。
2 損害区分の欄は、該当するものを○で囲んでください。
(焼-焼き損害、消-消火損害、爆-爆発損害)
3 商品は、卸売業は卸売価格、小売業は小売価格、製品、半製品は工賃を加えた原価、その他は、り災した物と同程度の古物の時価による。
4 立木等は、商品類欄に記入してください。なお、動産損害品名等を記入する用紙が不足した場合は、別紙に記入してください。

⑨ 動産
【車両・構造物及び器具備品・機械装置の主要なもの】
品名、損害区分、数量、単価（円）、価格（円）、購入年月を記入します。

損害区分の欄は、該当するものを○で囲んでください。
(焼-火災による損害、消-消火による損害、爆-爆発による損害)

価格（円）の欄は、合計価格を記入します。
(例) 単価2千円のものが2個あるとき
2,000×2=4,000で、価格は4千円

【商品・衣類・寝具・身廻品・書画・骨とう等】
品名、損害区分、数量、単価（円）、価格（円）、購入年月を記入します。

損害区分の欄は、該当するものを○で囲んでください。
(焼-火災による損害、消-消火による損害、爆-爆発による損害)

価格（円）の欄は、合計価格を記入します。
(例) 時価・単価2千円のものが2個あるとき
2,000×2=4,000で、価格は4千円

※商品は、卸売業は卸売価格、小売業は小売価格、製品、半製品は工賃を加えた原価、その他は、り災した物と同程度の古物の時価によります。
※立木等は、商品類欄に記入してください。なお、動産損害品名等を記入する用紙が不足した場合は、別紙に記入してください。